



ぼらなび

沖縄市社会福祉協議会
ボランティアセンター
〒904-0003
沖縄市住吉1-14-29
TEL098-937-3385
FAX098-937-3422

オキセンター
社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会

ボランティア情報BOX すこやか薬局グループ へ設置しました☆☆



●沖縄市社協ではボランティアや福祉情報を広く市民へPRするために「ボランティア情報BOXの設置活動」を始めました。その設置第1号店舗のセレモニーが2月20日に「株式会社すこやかホールディングス本社（市登川）」にて行なわれ、社協の積会長は「市民に福祉情報を届ける事ができるので喜ばれると思います。設置場所は今後も増やしていきたい」とあいさつしました。また、すこやかホールディングスの宮里敏行社長は「沖縄市で人と人をつなげる活動に役立つ事が出来る事は嬉しい。今後もボランティア情報を積極的に発信していきたい」と話されました。情報ボックスには「ぼらなび」のほか、地域包括支援センターの情報紙や福祉講座の受講生募集などの福祉情報を毎月配布します。今後は、市内のすこやか薬局グループ15店舗に設置した後、市内の企業・団体へ拡大していく予定です。設置を希望する企業は社協までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。



発達障がい児・者サポーター 養成講座の修了式!



●平成29年度「発達障がい児・者サポーター養成講座」の修了式が行なわれ20名の修了生が誕生しました。修了生からは「理解が出来ない子どもへは、違う言い方に変えて伝える事が大事だと分かった」「沢山学びました。グループワークで情報共有ができた事もとても嬉しかった」などの感想がありました。修了生は今後、市内の小・中学校で「スクールボランティア」として特別支援学級などで活動する予定です。

☆南桃原自治会☆ 防災ウォーキング



●南桃原自治会の「地域の防災ウォーキング」が2月4日に実施されました。各班ごとに分かれて地域の危険箇所や設備などをチェックしました。雨の中、多くの区民と共に障がいを持つ方も参加し、障がい者ならではの視点でチェックを行い、とても有意義な活動となりました。

宮城県の震災からの復興研修



渡り廊下が壊れ壁が流された大川小学校

●1月24日から4日間宮城県へ、震災から約7年たった復興の状況について研修に行きました。今回、特に印象深かったのは「石巻市立大川小学校」です。校舎は海岸から約4キロも離れていますが、大きな津波が川沿いの学校を襲いました。2階建て校舎の屋根を乗り越えて約10メートルも駆け上がり、児童と教員合わせて84名が亡くなりました。訪ねた当日は地元の方でも「寒すぎる」という雪の降り積もるとても寒くて静かな朝でしたが、慰霊塔への雪道には一人の足跡が残されていました。ご遺族の方が朝早く参られたのでしょうか。壁がほとんど流され、骨組みだけが残された校舎を見てい



校舎は震災遺構として保存予定

ると、ご遺族の方々のやり切れない想いや、何よりも亡くなった子ども達の様子などさまざまな事が胸に浮かび、ただ慰霊塔に手を合わせる事しか出来ませんでした。他にも、震災に遭われたお二人の方のお話を聴く事も出来ました。「人工透析で通院のためのガソリンを必死で確保した」「一度避難したがカギを閉めに戻って津波に家ごと流された」などの体験を淡々と、でも明るく話される中で「両親が亡くなった震災の事はなかなか人に話す機会はないのですが、今回話せて良かったです」と語られ、明るい表



大規模な工事が続く女川町

情からは見て取れない傷跡が深く心に残っている事が感じられました。また、支援を受けるだ



仮設住宅にも当たり外れが...

けではなく自分達で出来る事は自分達で」とお二人ともに復興団地自治会の役員をされていて、自治会の取り組みを聴く中で少しずつ地域のコミュニティも再生されている様子が分かりました。復興に向け少しずつ歩みだしている中、現在もなお仮設住宅に暮らしている方の生活の様子や、海岸沿いの大規模な工事を見ていると復興には長い時間がかかり、まだ支援も必要だろうという印象でしたが、地元の方は「支援ではなくて、宮城県に遊びに来てください」と話していて、観光に行く事も支援につながる事が分かりました。みなさん！宮城に東北に遊びに行きましょう！美味しい食べ物もいっぱいありますよ！！上原健次（沖縄市社会福祉協議会）



ボランティア

ボランティア募集

利用者⇒市内高齢者（女性）

活動日⇒4月2日（月）

時間⇒午前10時～

場所⇒中部協同病院

内容⇒病院受診の付き添い。

薬局での薬の受け取り。

人数⇒1名

備考⇒宮里地域の方



★歩行が不安定で車いす利用していますが、介助者が不在のため依頼します。